

2024年度

事業報告書

特定非営利活動法人 CFF ジャパン

1 事業の成果

今年度は職員と理事それぞれが「海外支援（インターナショナル）」「教育（学校協働）」「子ども」「地域（インターローカル）」に関するワーキンググループを担当し、事業の方向性や計画決め、運営に当たった。海外事業においては、各国CFFのディレクターとの共同ミーティングが定例化したことやCFFインターナショナルと共にカンボジアスタディツアーやCFFインターナショナルを中心とした各国CFFとのより強固な協働体制の構築へと繋がった。学校協働事業では、CFF初となる中学生を対象としたマレーシア研修旅行の実施や教育機関向けのパンフレット作成など、団体が社会に届けたい価値を改めて確認し言語化していく重要な機会となった。子ども支援においては、子育てひろばとまなカフェを統合した「まなカフェひろば」を開始し、子どもを中心に多世代が地域で育ち合う場作りの一歩を踏み出すことができた。昨年度発足したインターローカル事業では、能登半島地震に関わる支援活動を中心に青年と地域住民が交流を深め、地域に寄り添った活動の展開と共に他地域での活動の可能性も見出すことができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【46,291】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
ワークキャンプ・スタディツアーやを通じた青年育成事業	フィリピンワークキャンプ	8~9月 2~3月	フィリピン・パンガシナン州およびマニラ	4名	日本人 青年と 現地人 青年	62名	46,291
	フィリピンスタディツアーや	2月		1名	日本人 青年	13名	
	フィリピンスタディキャンプ	8月		2名	日本人 青年と 現地児童	21名	
	マレーシアワークキャンプ	8~9月 2~3月		4名	日本人 青年と 現地人 青年	53名	
	マレーシアスタディツアーや	8月		2名	日本人 青年	21名	
	マレーシアスタディキャンプ	2月		2名	日本人 青年と 現地児童	22名	
	マレーシアリトリートツアーや	9月		2名	日本人 青年	6名	
	マレーシア年越しファミリーキャンプ	12~1月		2名	日本人 青年と	18名	

				現地児童		
ボルネオ島インター 留学	8~9月 2~3月	3名	日本人 青年	8名		
カンボジアスタディツ アー	7月	カンボ ジア・ノ ンペニ・ タケオ 州・コン ポンス プー州	2名	日本人 青年と 現地人 青年	10名	
プログラムリーダー・イ ンターン育成	通年	日本	5名	大学生	15名	31,405
海外の子ど も支援等の 国際協力事 業	児童養護施設 CFF「子どもの家」支援	通年	フィリ ピン・マ レーシ ア	4名	施設入 所児童	29名
	地域の子ども支援	通年	マレー シア	1名	貧困を 抱える コミュニティ の子ど も	20名
学校協働お よび次世代 教育の実践 的探究事業	順天高校協働事業	通年	マレー シア	1名	高校生 教員	20名
	明星大学協働事業	通年	マレー シア	1名	大学生 教員	11名
	箕面こどもの森学園	通年	マレー シア	1名	中学生 教員	22名
	エデュケーションラボ	通年	オンラ イン	4名	全国の 教育関 係者	10名
	学校協働プログラム	通年	各校ま たはオ ンライ ン	2名	全国の 大学・高 校・関係 機関	150名
地域の共生 社会づくり に関する事 業	子育てひろば	通年	CFF ジ ャパン 事務所・ コーチ ャハイム 千歳 鳥山	4名	鳥山地 域の妊 娠期～乳 幼児親 子	のべ 234組
	まなカフェ（学習支援）	通年	コーチ ャハイム 千歳 鳥山	30名	鳥山地 域の小 学生	のべ 301名
	インターローカル (能登支援)	通年	能登	15名	能登や その他の 地域の 住民	のべ 850名
						4,577

(2) その他の事業

なし